

日本学生支援機構奨学生（大学予約）募集について

日本学生支援機構(JASSO)の奨学生(大学予約、短大、専門学校も対象)を募集します。事務局に申込書類がありますので希望する生徒は取りに来てください。

以下は概要です。詳細については、申込書類中「奨学金早わかりガイド」「給付奨学金案内」「貸与奨学金案内」等資料をご覧ください。⑨!()は参照ページ…(奨)奨学金早わかりガイド、(給)給付奨学金案内、(貸)貸与奨学金案内

◆募集の対象…2026年度に大学・短期大学・専門学校へ進学を希望する人で、以下(1)または(2)のいずれかに該当する人

- (1) 2026年3月に高校等(本科)を卒業予定の人 (奨5,8)(給3)(貸4)
(2)高校等(本科)を卒業後2年以内の人

◆奨学金の種類 (奨 2,5～12)(給4～11)(貸2～11)

- 給付奨学金 **返済不要** 収入基準に基づいて第Ⅰ～第Ⅳまでの支援区分あり。*ただし、第Ⅳ区分は多子世帯に限る
○第一種奨学金（無利息） } 貸与終了後(卒業後)7カ月目 ※海外大学で利用可能なのは (貸34,35)
○第二種奨学金（利息あり） } から返済開始。 第二種奨学金(+入学時特別増額貸与奨学金)のみ!
○入学時特別増額貸与奨学金(一時金,利息付) 第一種、第二種奨学金とセットで利用。単独での利用は不可。

☆重要事項① (奨7～9)(給5,10)(貸2,6,7,9～11)

※日本学生支援機構の奨学金は、**他の奨学金制度との併用が可能**です。(貸6)

※給付奨学金と貸与奨学金（第一種、第二種、入学時特別増額貸与）は一緒に申込みが可能です。

但し、給付奨学金と第一種奨学金とを併せて受ける場合は、第一種奨学金の月額が調整されます。

なお、給付奨学金の利用の有無に関わらず、第二種奨学金、入学時特別増額貸与奨学金の金額は自由に選択できます。

ただし、卒業後の返還の事を考えて貸与月額は慎重に選択して下さい。

※どの奨学金の対象となるかは「奨学金早わかりガイド」等に掲載の「進学資金シミュレーター」で確認可能。(奨7)(給5)(貸7)

○奨学金は、進学後（5月頃）に振り込まれます。進学前に必要となる「入学金」等には利用できません。

入学前に一括してまとめた資金が必要な場合は、以下の制度のご利用をご検討ください。

- ・「国の教育ローン」（日本政策金融公庫） } (奨 13) (貸 12,13, 24,25)
・「入学時必要資金融資制度」（労働金庫） }

・都道府県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付制度

(福井県社会福祉協議会：生活福祉資金/教育支援資金 ☎：0776-24-2339)

○日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者となった場合、労働金庫の「入学時必要資金融資」（つなぎ融資）の利用が可能です。お問合せ、申込みはお近くのろうきんにてお願いします。

☆重要事項②

～2020年4月から「高等教育の修学支援新制度」がスタートしました～(奨2,7)(給 2,12～15)

これにより、2019年度以前の給付奨学金に比べ、対象者の範囲および支給額が大幅に拡充されました。さらに、給付奨学生として採用された場合、進学先の大学等で別途、申込みを行う事により入学金・授業料の減免(減額または免除)も併せて受ける事ができるようになりました。⑨! 手続きの詳細については、進学先の学校に確認して下さい!

※ただし、新たな給付奨学金は対象となる学校に一定の要件がある為、全ての学校が対象になるとは限りません。**自分の進学先が対象校であるかどうかは、文部科学省ホームページ(奨 2)(給2)にて確認してください。進学先が対象校でない場合は、給付奨学金を受ける事が出来ません。**

○給付奨学生に採用された後は、定期的に基準を満たしているか審査(適格認定)を受けることになります。学業に関する適格認定は毎年1回。(短大、修業年限が2年以下の専門学校においては年2回)

家計基準の適格認定は毎年審査があり、結果は10月分の支給から反映されます。

☆重要事項③ (奨 6,7)(給 8～11)

1. 2025年度より、多子世帯支援が拡充されました。

扶養する子供の数が3人以上、かつ生徒自身が生計維持者に扶養されている世帯が対象です。

授業料・入学金について所得制限なく上限額まで支援が受けられます！ 別途、進学先での手続きが必要です！

※まず生徒及び生計維持者のマイナンバーを提出して、**給付奨学金への予約申込みが必要**となります。

※給付奨学金の支給区分、第Ⅰ～第Ⅳ区分に該当する場合は、**授業料・入学金の上限額**までの支援の他、さらに**給付奨学金が区分に応じて満額～4分の1の額まで支給**されます。収入基準が第Ⅳ区分を超えている場合は、給付奨学金は支給されませんので、注意！

2. 第4区分で多子世帯に該当しない場合でも、進学先が**私立学校の理工農系の学科等**であれば授業料等減免の対象となり、文系との差額に着目した額の授業料および入学金の減免を受けることが出来ます(③給付奨学金の対象にはなりません)

☆重要事項④ (貸13) ～奨学金の返還支援について～

奨学金返還額の一部または全額を支援している地方公共団体、企業があります。詳細はJASSOのホームページで確認出来ます。

☆重要事項⑤ (奨4,10) (貸28)

※スカラネットでの **申込時に選択した事項は**、進学後に行う「**進学届**」提出時に再度、**選択し直すことが可能**です。

●貸与奨学金(第1種、第2種とも)については、**貸与を受けている中でも月額を変更する事が可能**です！

※マイナンバーは、2025年度より**インターネットでのオンライン提出**になりました。

スカラネットでの**申込み完了後**に、生徒本人が入力して提出となります！スカラネット申込み時点で、本人および生計維持者分を準備しておきましょう。

◆**申し込み手順** < 申込み期限内に①～⑧の手続きすべてを完了してください。 >

奨学金の申込みは、「**奨学金申込専用サイト(スカラネット)での申入力**」とその後の「**インターネットでのマイナンバー提出**」

さらに「**奨学金確認書兼地方税同意書**」の郵送と必要書類の学校への提出(該当する生徒のみ)により行います。

- ① 事務所に申請書類を取りに行く。★スカラネット入力用の**生徒用ユーザーIDとパスワード**をもらう。
- ② スカラネットにログインする為に必要な**2組のIDとパスワード**を確認する。
 1. ①で学校から配付されたもの
 2. 申請書類の中の「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載されている**申込IDと初期パスワード**
- ③ 申請書類の中から「**申込みのてびき**」を取り出し、読み進めながら、スカラネットで入力する内容を確認し、記入していく。(4,7～28ページ)
- ④ 「**申込みのてびき**」29～35ページにて、必要書類を確認し、作成および取得する。
- ⑤ ③で記入した7～28ページの下書きを見ながらスカラネットで申入力をする。 ⑤！ 1画面当たり30分の入力時間制限あり。
- ⑥ 正常に申込送信が完了すると、画面に「**受付番号**」が表示されるので、画面の印刷、「**申込みのてびき**」への記入等によって、番号を控える。
- ⑦ 「**受付番号**」が発行された後、「**マイナンバーの提出用画面**」へログインし、入力する。

⑤生徒本人と生計維持者のマイナンバー提出は、必ず、生徒自身が行う事！
- ⑧マイナンバー提出完了後、1週間以内に専用の封筒(水色)を使って「**奨学金確認書兼地方税同意書**」を郵便局から**簡易書留**で郵送する。

⑤奨学金確認書は、必ず各自が自署して下さい。**生徒本人の身元確認書類**(☆本校の生徒証明書)を添付して下さい。生計維持者の分は不要です！

◆**申込み期間** < 期日厳守！如何なる理由があっても期日を超えた申し出は受け付け出来ません。 >

- 事務局窓口での申込資料配布期間 **5/2 (金)～7/4 (金) 正午まで**
- スカラネット入力申込期間 **～7/10 (木) まで**
- 学校への書類提出期限 **7/11 (金) 正午まで** (※ただし、該当する生徒のみ)

◆**採用候補者の決定時期** ○11月下旬頃の予定

◇**詳細についてのお問い合わせ先**

- 日本学生支援機構 奨学金相談センター
- ☎ 0570-666-301 (月曜日～金曜日 9時～20時、土日祝日・年末年始を除く)